

ぼう ちょう しゃ 傍聴者の声

傍聴者数のべ 30 人



坂本 としはる
利春 (つつじ台)

わかりやすくストレートに質問して欲しい

傍聴をした日は、町立幼稚園に関する質疑がこなわれる時間帯であったこともあり、若いお母さん方などが多く来られており、傍聴席は大盛況でした。

育児などの身近な問題には、皆さんの関心が高いのだと感じました。

町民一人ひとりが、自分たちが、選んだ議員がどのような活動をしているのか、関心を持ち、これから大津町がどのように発展していけばよいのか、どうすれば地域が活性化できるのか、議員、町執行部、そして町民が一体となつて考えていく必要があると思います。

そのためには、議会を傍聴して、町づくりを感じることからはじめてはどうかと思えます。また、町長や議員の選挙の時には傍聴から見えてくる事なども参考になると思います。選挙権も18歳に引き下げられた事もあり、若い世代の方々にも、是非傍聴していただき、投票の参考にされる事を望むものです。

誰かに頼まれたからと

か、顔見知りだからで投票するのではなく、町の発展や町民のために働く候補者を選びたいものです。また、議会が活性化しない原因は、情報の発信が足りないと思う。議員の質問の内容が伝わってこない。わかりやすくストレートに質問して欲しい。答弁する側は、長々と棒読みで、要領を得ないし、説得力に欠ける。質問する側も、答弁する側も、すぐに結論が出せない事は、時間をかけてもいいので結論を導き出して、その結果を議会、だよりに大きく掲載して頂きたい。

議会には、陳情や請願の制度もあり、議会の協力を得て出すこともできます。

最後になりますが、私たち町民も、これからの少子高齢化や人口減少で財政も厳しくなるので、議員や役場に頼るだけではなく、自分たちでできる事はすんでおこない、役場の負担を減らせていければと思っています。

(敬称略)

大津町で77年ぶりに

献穀事業がおこなわれました

皇室行事の新嘗祭に町の米と粟を奉獻するために献穀事業を行いました。

新嘗祭は、毎年11月23日、天皇陛下が新穀を神々に供え、ご自身も食される収穫と感謝の祭りであり、各都道府県の農家から奉獻されます。

本町における本事業は昭和13年に実施して以来77年ぶりの記念すべき事業です。



ぬきほさい
抜穂祭

10月10日

きよはらいさい 清祓祭・播種祭

5月19日



おたうえさい 御田植祭

6月20日



ほうこくさい 奉告祭

10月15日

